

これで区民がほかれる正蓮寺川公園になるのでしょうか

せと一正 前市議員が
調べました

大阪市が今示している正蓮寺川公園の計画案は、最初につくった基本計画を平成 25 年 3 月に見直したものです。最初の基本計画は、平成 14 年に高速道路がトンネル構造に計画変更されたのを受け、17 年 3 月につくられました。昨年末にせと前市議が大阪市に要求し入手した 17 年基本計画と 25 年基本計画案を比べて見ると、「事業費」と「せせらぎ」が大きく違っていることが分かります。

8 年前の基本計画にくらべ事業費は 3 分の 1 以下 (45 億円の公園から 13 億円の公園に変更されている)

17 年基本計画は 15 年につくった基本構想を具体化したもので、基本構想は、直接工事費約 29 億円で諸経費を入れた事業費概算は 45 億円でした。25 年基本計画案で別添資料として示されている工事費概算は、直接工事費約 9 億円で諸経費を入れて 13 億 5 千万円と、3 分の 1 以下に減らされています。

その背景には、17 年当時大阪市全体で年 136 億円あった公園新設予算が、24 年にはたったの 14 億円にまで激減しているという事情があります。

地球温暖化や大阪市の夏場のヒートアイランド現象が大問題になっているときに、こんなに「緑と公園」の予算を削るなんて、とんでもありません。

新しい公園の建設には平米約 2 万円かかっている (約 19 万㎡だから 38 億円はかけるべきでは?)

「新設公園には平均で 1㎡あたり 2 万円少しかかっている」というのは、せと前市議が公式の場で質問して、大阪市の公園当局者が答弁したものです。

正蓮寺川公園の大阪市案 13 億円は平米あたり 6 千 9 百円。これでは「市内の平均以下のグレードの公園」になるのではないのでしょうか。

コンクリート壁の撤去はオール此花の声



◀正蓮寺川を高さ 1.6 ~ 2m のコンクリート壁が囲っている

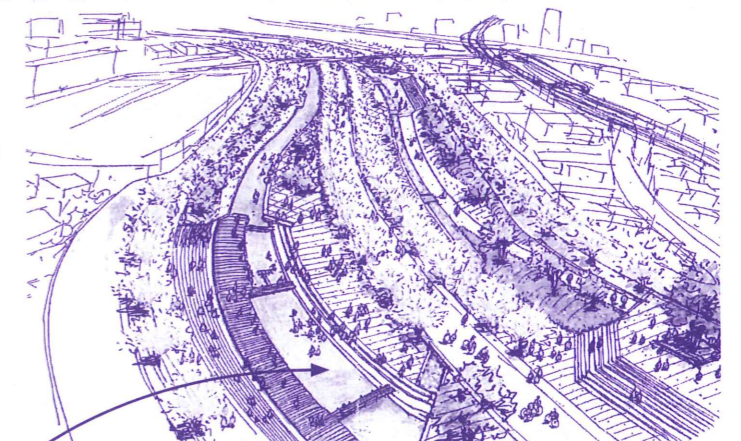
コンクリート壁は大阪府が「高潮対策」として設置したもので、府は「平成 30 年に北港大橋下流のポンプ場が完成すれば、コンクリート壁の役割はなくなる」と明言しています。

撤去せよの「オール此花」の声をさらに広げて、必ず、撤去させましょう。

8 年前の計画は「緑と水のネットワーク」をめざし 淀川の水を引きこんで公園に「大きなせせらぎ」を配したものの

平成 17 年基本計画の基本方針には、

- 緑と水によるまとまりのある自然的環境を創出し、大川、中之島から淀川、舞洲につながる緑のネットワークを構成する。
 - 沿川の商店街の商圈域を広げてまちを活性化するとともに、沿川住民や地域外からの来訪者との交流拠点として、沿川地域の魅力づくりを担う。
- 等がうたわれ、西島の大きな広場を除いて、公園の東から西まで大きなせせらぎがありました。



ココが「せせらぎ」

▲千鳥橋から森栄橋をみた絵
真ん中の少し左にせせらぎ、中央と左右はさくら並木

公園の下にある地下河川から淀川の水を汲み上げる計画

17 年計画はせせらぎの水源を「淀川からの揚水」に求めています。これは、正蓮寺川公園の下につくられている地下河川から、淀川の水をくみ上げるものと思われます。高見の淀川堤防のそばにある、国の「水資源開発公団」が淀川の水を毎秒 16 トンも汲み上げて地下河川に流しており、これを活用すれば可能なことです。

今の大阪市案は幅 1m 強・長さ 190m の「せせらぎ」

大阪市の今回案は、恩貴島橋の東から国道 43 号線の手前までの位置に、深さ 20cm・幅 1m 少しの「雨水排水路」をかねた「せせらぎ」を配置しています。財政的に厳しくなったことや、橋梁が土盛構造になったことなどの物理的困難を理由にごく小さなものにしてはいますが、これではまともな「せせらぎ」とは言えません。物理的困難は工夫すれば必ず解決できると思います。

正蓮寺川の流れは復元すべきでは?



正蓮寺川区民の会 代表
前大阪市議員 せと一正

正蓮寺川公園への区民の意見を大阪市に届けましょう

2月末まで大阪市建設局が公園計画(素案)へのアンケート調査をしています
アンケートの受付は此花区役所と区民ホールで行われています

正蓮寺川「区民の会」

2014年2月

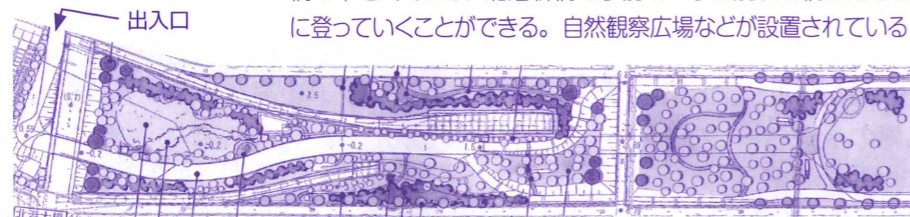
大阪市此花区春日出北1-1-25(医)此花博愛会内
TEL.06-6463-2223 FAX.06-6463-2280

■ 建設局が公表している公園の基本計画素案(たたき案)

基本計画(素案)の平面図は、アンケート用紙とセットで区役所と区民ホールに置かれており、建設局のホームページにはカラー図面があります。

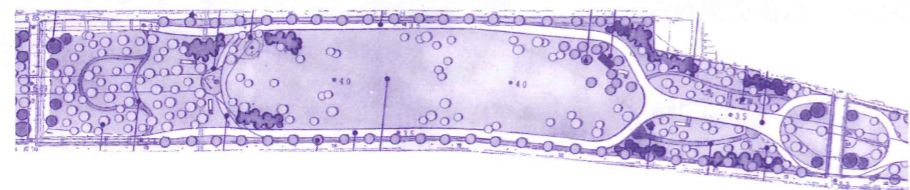
北港大橋～北港新橋

歩行者専用道路を使って、図面左上から公園の中に入り、北大橋の下をくぐって、北港新橋の手前で二手に別れて橋のたもとに登っていくことができる。自然観察広場などが設置されている



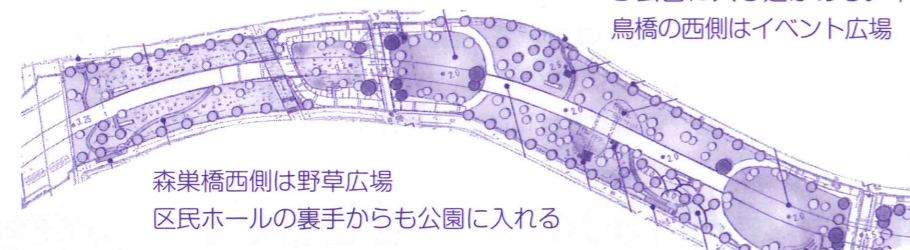
北港新橋～恩貴島橋

川幅は約100m。大きな原っぱは60m×200mもある。公園地盤は周りの道路より50cm以上高くなっている



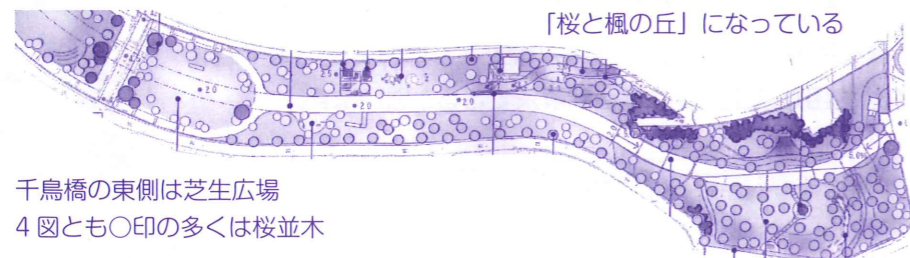
43号線～森巣橋～千鳥橋

千鳥橋の北と南のたもとから公園に入る道がある。千鳥橋の西側はイベント広場



千鳥橋～嬉ヶ崎橋・福島大開

嬉ヶ崎橋付近はOP7mの小山「桜と楓の丘」になっている



千鳥橋の東側は芝生広場
4図とも○印の多くは桜並木

市主催「正蓮寺川公園への想いを語る会」 100名近くが集まりたくさんの声が出ました

1月15、22、25日に区民ホールで開かれたワークショップでは、参加者が4人1組に分かれテーブルを囲んで2時間ちかく想いを語り、30

～50項目も要望が出たテーブルもありました。出された要望は大阪市が後日まとめて報告するとしています。下記は一例です。

▶ コンクリート壁の撤去

中が見えない公園では防犯上危ないという声が多数。どこからでも入れる公園にすべきという声も。全部撤去と腰の高さを残した部分撤去(車の転落防止柵)の両方の意見あり。

▶ 野球とサッカーの練習場

公式試合は無理でも練習用グラウンドはぜひ整備すべきだの声や、防球ネットや利用者用駐車場が必要だの意見。

▶ 学童が自由に遊べる広場

野球場だけでなく学童期の児童が自由に遊べる原っぱを。区内にはその場所が少ない。

▶ 散歩道と疲れをいやす足湯

散歩道やミニマラソンコースをつくり、距離表示もしてほしい。「足湯」が置けないか。

▶ サイクリングロード

歩行者専用道路には人だけでなく自転車も走れるようにしてほしい。車イスも入れる様に。

▶ 犬を連れて入れるドッグラン

犬などのフンの始末は大きな問題。愛犬家も公園を利用できる区域・ドッグランは必要。

▶ 川遊びができる水辺、小川やせせらぎ

子どもの水遊びができるせせらぎ、ホタルやトンボがいる水辺がほしい。小川の規模のせせらぎ。自然の生物が生息できるピオトープも。正蓮寺川をつぶしてつくる公園なんだから水辺は絶対に必要。

▶ 正蓮寺川の歴史を残したせせらぎに、 淀川の水を利用すべき

基本方針に「川のイメージを残しつつ」と書いてあるがそうになってない。地下河川があるのなら汲み上げればよい。土盛橋梁でもトンネルをつくれば長い小川はつくれる。

▶ 商店街ににぎわいつくるさくら並木

さくら並木は正蓮寺川公園のシンボルにしてほしい。桜並木で商店街に客が集まるような賑わいの公園に。市民がつくる桜並木(苗木寄付者の名札を吊るす)にしたら良い。梅やイチヨウなど四季の花が楽しめる樹木がほしい。

▶ 市内から人がたくさん集まる公園に

これほど広い公園なので「此花区」だけでなく、大阪市全体の広域的な公園にしてほしい。そうすれば人が集まる。

▶ 若者が集まれる場所も

フットサルやライブができ、スケボ練習場がある、など若者が集まる公園にしてほしい